

コード	20103
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	ごみ減量化とリサイクルの推進
--------	----------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり

課コード	113	関係課名	
主管課名	環境課		

基本事業の目的

ごみ分別収集の徹底や生ごみ処理容器の設置助成など、ごみ減量化とリサイクルの推進に努める。

基本事業の成果

成果指標名称 1	ごみの排出量に対するリサイクル化率	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	資源化率÷ごみ総排出量	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	
目標達成数値	18%	目標達成数値	

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	t	9,205	9,360	9,666	9,874	9,800
	実績 B		t	869	717	788	791	-
	達成率 B/A		%	9.4	8.4	8.2	8.0	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B						-	
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	一般家庭からのごみの排出量は年々減少傾向にあるが、家屋解体ごみ量の増加及び漂流漂着ごみ回収実施等により全体量が増加した。
	課題	ごみの発生量の抑制だけではなく、再使用、リサイクル化の推進及び不法投棄の防止等、さらなる意識改革を図る必要がある。
	改善	町民への普及啓発が重要で、ごみ処理施設の見学や、ポスター・広報紙による啓発を今後も継続して行っていく必要がある。

2次評価	ごみの発生の抑制、再利用を促進するとともに、ごみを適正に処理し生活環境を清潔にすることによって、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用されるまちづくりを図るためにも、更なる住民への普及活動を推進し、リサイクル率の向上に向けて取り組む必要がある。また、漂流漂着ごみについても、海岸の良好な景観、多様な生態系の確保など総合的な海岸環境の保全に向け、回収・処理などの対応、対策について検討していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	201030102	ごみステーション整備事業	環境課	1,764千円	(途中) このまま事業を継続
2	201030201	生ごみ減量化等機器購入補助事業	環境課	160千円	(途中) 事業内容を見直して継続
3	201030502	ごみ焼却施設改修事業	環境課	129,150千円	(事後) 平成25年度で事業完了
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				131,074千円	